

技術講習会のご案内

『首都高速道路の設計施工要領等に関する講習会(平成21年度)』

謹啓 ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素から(財)首都高速道路技術センターの事業に格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度、首都高速道路株式会社及び首都高技術株式会社の後援を得て、当技術センターでは首都高速道路株式会社制定の橋梁構造物(鋼橋)・付属施設物(高架橋避難階段、遮音壁、伸縮装置)に関する設計施工要領の内容(特に改訂内容を中心に)及び落橋防止システムの考え方について技術講習会を下記「開催要領」の通り開催します。

つきましては、ご多忙のところ大変恐縮ではございますが、多数ご参加頂きますよう、ご案内申し上げます。

謹 白

財団法人 首都高速道路技術センター

開 催 要 領

(主催) 財団法人首都高速道路技術センター
(後援) 首都高速道路株式会社
首都高技術株式会社

1. 名 称 **首都高速道路の設計施工要領等に関する講習会(平成21年度)**
2. 開催日時 **平成21年11月27日(金) 14:00~17:20**
3. 会 場 首都高技術株式会社 会議室
港区虎ノ門三丁目10番11号 虎ノ門PFビル(地下1階)
(連絡先) 03-3578-5750 財団法人首都高速道路技術センター企画部
4. 受講対象 **首都高速道路の設計に関わっておられる方、関わる予定のある方**
5. プログラム (この技術講習会は、(社)土木学会の継続教育(CPD)プログラムです。)

内容	時間	講師(予定)	
開講の挨拶	14:00~14:05	山下 寛	(財)首都高速道路技術センター 参与
設計要領の体系について	14:05~14:20	土橋 浩	首都高速道路(株)技術管理室 設計技術グループ 課長
「橋梁構造物設計施工要領」 (鋼橋編)について	14:20~15:40	小西 由人	首都高速道路(株)技術管理室 設計技術グループ 課長代理
休 憩	15:40~15:55		
首都高の上部構造に関する落橋 防止システムの考え方について	15:55~16:20	小西 由人	首都高速道路(株)技術管理室 設計技術グループ 課長代理
「付属施設物設計施工要領」 ①高架橋避難階段編 ②遮音壁編 ③伸縮装置編	16:20~17:20	田中 大介	首都高速道路(株)技術管理室 設計技術グループ

6. 定 員 80名 (申し込み受付順) 定員を超過した場合、お断りすることがあります。
7. 申込期限 平成21年11月18日(水)必着
8. 申込方法 別添の参加申込用紙に必要事項をご記入の上、下記宛にFAXして下さい。

FAX 03-3578-5760 (TEL 03-3578-5750)

送信先：(財)首都高速道路技術センター 企画部 講習会受付係

9. 受講料及び支払い方法

○受講料 1名あたり **3,000円**

○支払い方法 申込受付後、「受講票」と「請求書」を申込み担当の方に送付させていただきますので、指定の郵便振替口座にお振込み下さい。

(恐れ入りますが、振込み手数料は貴社でご負担下さい。)

10. 講習会テキスト

当日、受付でお渡しします。(受講票をご提示下さい。)

なお、説明する設計施工要領等は下記の通り、**首都高技術株**で販売しています。ただし、附属施設物設計施工要領(**高架橋避難階段編**)及び同(**遮音壁編**)は11月下旬販売予定です。詳しくは、**首都高技術株**のホームページまたは電話でご確認下さい。

以上

講習会会場案内図

※当日は受講票をご持参下さい。



港区虎ノ門三丁目10番11号
虎ノ門PFビル
地下1階 会議室

(最寄駅) 東京メトロ日比谷線 神谷町駅
または
東京メトロ銀座線 虎ノ門駅

問合せ先

(財)首都高速道路技術センター
企画部 講習会受付係
TEL **03-3578-5750**

【設計施工要領等の販売について】

- ・別添リストの通り、**首都高技術株**で設計施工要領等を販売しています。首都高技術株のホームページ(www.shutoko-eng.jp)をご覧ください。詳しいことは、電話(03-3578-5757)でお問合せ下さい。(平日9時~17時)
- ・なお、講習会当日は、設計要領等の販売を予定していますので、この機会に是非ともお求め下さい。

販売図書及び販売価格等一覧表

今回の説明対象は水色で網掛けしています

(平成21年10月1日現在)

コード	図書名	電子化	発行年月	担当G	税込価格(円)
グループ1					
001	調査・設計共通仕様書(土木編)	○	H18.2	交通調査G	4,500
002	設計共通仕様書(施設編)	○	H18.5	設計技術G	1,500
003	土木工事共通仕様書	○	H20.7	技術調整G	6,000
004	土木材料共通仕様書	○	H16.8	技術調整G	6,200
005	建築工事共通仕様書	○	H20.7	技術調整G	1,500
006	機械設備工事共通仕様書	○	H20.7	技術調整G	1,500
007	電気設備工事共通仕様書	○	H20.7	技術調整G	2,500
008	工事関係様式集	○	H20.7	技術調整G	4,100
009	土木工事安全衛生管理指針	×	H15.4	技術調整G	1,500
010	安全管理チェックリスト	○	H15.4	技術調整G	1,000
011	工事標準歩掛(土木編)	○	H21.7	技術調整G	4,500
012	工事標準歩掛(維持修繕・附属施設土木編)	○	H21.7	技術調整G	3,000
013	工事標準歩掛(建築編)	○	H21.7	技術調整G	2,000
014	工事標準歩掛(機械設備編)	○	H21.7	技術調整G	2,000
015	工事標準歩掛(電気通信工事編)	○	H21.7	技術調整G	2,000
計	15				
グループ2					
021	橋梁構造物設計施工要領	○	H20.7	設計技術G	5,000
022	橋梁構造物標準図集(鋼構造物編)	○	H19.7	設計技術G	10,000
023	橋梁構造物標準図集(コンクリート編)	○	H20.10	設計技術G	10,000
024	橋梁塗装設計施工要領	○	H18.4	設計技術G	1,500
025	橋梁構造物設計要領(コンクリート片剥落防止編)	○	H18.8	設計技術G	1,500
026	高架橋路線配色設計要領	○	H21.6	設計技術G	3,000
計	5				
グループ3					
031	トンネル構造物設計要領(開削工法編)	○	H20.7	設計技術G	4,000
032	トンネル構造物設計要領(シールド工法編)	○	H20.7	設計技術G	6,000
033	トンネル構造物設計要領(トンネル内装設計編)	○	H18.4	設計技術G	1,500
034	トンネル非常用施設設計要領	○	H21.6	設計技術G	3,500
計	4				
グループ4					
041	首都高速道路に交差・近接する構造物の計画・設計・施工協議図書作成要領	○	H5.8	設計技術G	1,500
042	高速道路上工事の保安施設実施要領	○	H21.4	点検・保全計画G	1,000
043	舗装設計施工要領(高架橋・トンネル編)	○	H20.7	設計技術G	3,000
044	付属施設物設計施工要領	○	(改訂中)	設計技術G	9,000
044-1	付属施設物設計施工要領(高速道路排水施設設計編)	○	(改訂中)	設計技術G	1,500
044-2	付属施設物設計施工要領(伸縮装置編)	○	(改訂中)	設計技術G	1,500
044-3	付属施設物設計施工要領(標識柱編)	○	(改訂中)	設計技術G	1,500
044-4	付属施設物設計施工要領(遮音壁編)	○	(改訂中)	設計技術G	1,500
044-5	付属施設物設計施工要領(高架橋避難階段編)	○	(改訂中)	設計技術G	1,500
044-6	付属施設物設計施工要領(防護施設編)	○	(改訂中)	設計技術G	1,500
044-7	付属施設物設計施工要領(落下物防止柵等編)	○	(改訂中)	設計技術G	1,500
※コード番号044を分冊したものが044-1～044-7となります。					
045	付属施設物標準図集	○	(改訂中)	設計技術G	6,500
045-1	付属施設物標準図集(高速道路排水施設設計編)	○	(改訂中)	設計技術G	1,500
045-2	付属施設物標準図集(標識柱編)	○	(改訂中)	設計技術G	1,500
045-3	付属施設物標準図集(遮音壁編)	○	(改訂中)	設計技術G	1,500
045-4	付属施設物標準図集(高架橋避難階段編)	○	(改訂中)	設計技術G	1,500
045-5	付属施設物標準図集(落下物防止柵等編)	○	(改訂中)	設計技術G	1,500
※コード番号045を分冊したものが045-1～045-5となります。					
046	標識設置要領及び標識標準図集	○	H19.12	交通安全対策G	8,000
046-1	標識設置要領	○	H19.12	交通安全対策G	3,000
046-2	標識標準図集	○	H19.12	交通安全対策G	6,000
※コード番号046を分冊したものが046-1～046-2となります。					
046-3	路面標示設置要領	○	H21.6	交通安全対策G	2,000
047	仮設構造物設計要領	○	H15.5	設計技術G	3,500
048	既設橋梁構造物補修・補強要領(鋼製橋脚隅角部の補強設計施工編)	○	H19.7	鋼構造物疲労対策G	3,000
049	首都高速道路交通管制施設設置要領	○	H18.7	管制技術G	800
計	24				

注) 付属施設物設計施工要領(伸縮装置編)、同(遮音壁編)、同(高架橋避難階段編)は11月下旬販売予定です。